

競技注意事項

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟および、大会要項（申合せ事項）に準じて実施する。出場選手は次の注意事項をよく守り、出場停止にならないように特に注意すること。

- 1, 招 集
ア, 選手招集所に余裕をもって集合し競技者係の指示に従うこと。
イ, 選手招集所は第3ゲート外側, テニスコート脇の器具庫に設ける。
トラック種目20分前, フィールド種目45分前に選手招集所で招集を行う。
四種競技の全種目についても, 招集所で招集を行う。
棒高跳びは招集時間に現地に集合すること。
ウ, トラック競技は競技開始の20分前に招集完了すること。
ただし, 組数の多い予選種目については時間差を設けて招集を行う。
詳しくはプログラムの競技日程で確認すること。
エ, フィールド競技は競技開始の45分前に招集完了とする。
- 2, 練 習 直線走路において行い, お互いに譲り合って練習すること。詳しくはプログラム記載の使用方法を参照。なお, 砲丸投げの練習は禁止する。
- 3, ナンバーカード 規程のものを胸, 背にしっかりと縫いつけること。つけない選手の出場は認めない。棒高跳, 走高跳, 走幅跳はどちらか片方でよい。
- 4, 選手変更 登録選手以外の変更は一切認めない。補欠との変更は1日目8時30分までに本部で行うこと。
- 5, 競技運営
 - ①トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることができない。
 - ②競技者がレコーダー, ラジオ, CD, トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んだり, 使用したりすることはできない。
 - ③トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定（1/1000秒）で行う。
 - ④タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合, 写真判定主任が同記録者の写真を拡大してより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは該当競技者の抽選とする。
 - ⑤セパレートレーンで行うトラック競技では, 競技者は安全確保のため, フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り, 他の競技者の妨害をしない。
 - ⑥3000m競技におけるスタートは2グループに分けて行う。
 - ⑦トラック競技は予選タイムレースで決勝進出者を決定する。3000mと1年1000mハードルはタイムレース決勝とする。1年走幅跳は3回の試技で順位を決定する。
 - ⑧フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
 - ⑨走幅跳, 棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
 - ⑩棒高跳に出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
 - ⑪混成競技では1種目でもスタートしなかったか, また, 1回でも試技をしなかったときは, それ以降の種目に参加することは許されず, 競技を棄権したものとみなされる。
- 6, リレー
 - ①オーダー用紙は2日間とも正面入り口で学校受付の際に配布する。
 - ②オーダー用紙は, 中体連規定により競技開始1時間前に競技者係に提出すること。
 - ③リレーチームの編成メンバーは, どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。
 - ④どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち, 2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

- ⑤最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- ⑥交代とは、一度出場した競技者が他の競技者と代わることであり、最初のラウンドにおいてリレーに申し込んでいない競技者が出場する場合は交代とみなさない。
- ⑦リレー競技においてはチームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- ⑧最大50mm×400mmの粘着テープをダッシュマークとして1カ所使用することができる。各校で準備した物を使用すること。ただし、後始末をすること。

7, 男子1年100mハードルの規格（高校女子と同じ規格）

ハードルの高さ 0.840m
ハードル間の距離 8.50m

8, 走高跳, 棒高跳におけるバーの上げ方は次のようにする。

走高跳	男	1m40-1m45 - 50 - 55・・・以上 3 cm きざみ	1m35
	女	1m25-1m30 - 35 - 40・・・以上 3 cm きざみ	1m20
四種 走高跳	男	1m35-1m40 - 45 - 50・・・以上 3 cm きざみ	1m30
	女	1m15-1m20 - 25 - 30・・・以上 3 cm きざみ	1m10
棒高跳	男	2m30-2m40 - 50 - 60・・・以上 10cm きざみ	2m20

9, 抗議

- ①競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。
- ②次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- ③裁定に不服の場合は委託金（1万円）を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

10, 表彰

決勝終了後直ちに各種目8位までの入賞者は大会本部席後方に集合すること。
表彰はユニフォームを着用すること。

11, その他

- ①スタートについて 英語コール（On your marks ~ Set）で行う。不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。その場合は該当の種目の得点は0点となる。
- ④1年100mハードルと1年走幅跳は学校対抗得点に含まない。ただし、8位まで賞状を授与する。
- ⑤スパイクは全天候用スパイクを使用すること。（ピンの数11本以内、ピンの長さは9mm以内 走高跳については12mm以内、先端の直径は4mm以内でなければならない）
- ⑥競技場へは、選手・補助員以外入らないこと。選手への付き添いはできない。
- ⑦集団応援は、他の競技の支障のないように行う。特に、フィールド競技の進行に配慮する。
- ⑧集団応援は、メインスタンドでは禁止とする。芝スタンドでは、通路を空けて実施すること。なお、手すりによりかかたりしないこと。
- ⑨救護について、応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- ⑩中学生らしくない身だしなみ（頭髪の染色、髪型、化粧、刺青、アクセサリ等）の選手の出場は認めない。